

屋外広告物の安全管理について

小矢部市 都市計画課

屋外広告物は、雨や風、強い日差しなどの厳しい自然環境にさらされており、表面はきれいな看板に見えても、内部では知らず知らずのうちに腐食が進み、落下や倒壊等の事故を生じ、取り返しのつかない事態を招く恐れがあります。

看板はあなたの会社や店舗等の信用・信頼を背負う大切な「顔」です。

定期的に汚れ、サビ、破損、部品の欠落、照明装置の不点灯等の危険サインをチェックし、適切な処置を行い、安全管理に努めましょう。

日常点検で、セルフチェック！ 早期発見が事故を防ぎます

<日常点検 チェック表>

セルフチェック項目	チェック
支柱の根元から、サビ、腐食が出ていませんか。	<input type="checkbox"/>
主要部材に、変形、サビ、腐食がありませんか。	<input type="checkbox"/>
ブラケット部からサビが出ていませんか。	<input type="checkbox"/>
看板が傾いていませんか。	<input type="checkbox"/>
パネル（表示面）に、ひびや破損がありませんか。	<input type="checkbox"/>
パネル（表示面）が、がたついたり、外れかけたりしていませんか。	<input type="checkbox"/>
表示面の汚れ、変色、剥離がありませんか。	<input type="checkbox"/>
照明は正常に点灯していますか。	<input type="checkbox"/>
照明器具が、傾いたり、外れかけたりしていませんか。	<input type="checkbox"/>
部材・部品が欠落していませんか。	<input type="checkbox"/>

※震度5以上の地震や大型台風の後などは、屋外広告業者に臨時点検を依頼しましょう。

【安全管理ガイドブック】

屋外広告物の安全点検を行う際は、学識経験者・業界関係者・地方自治体・国土交通省で組織する「屋外広告物適正化推進委員会」が点検の重要性について知っていただくことを目的として作成した「オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック」を参考にしてください。（ <http://www.mlit.go.jp/common/001106308.pdf> ）

見つけたら専門家に相談！ 早期対応が費用負担を抑えます

早期対応なら、サビを落とし保護材を塗布する等の簡単な処理で済むものも、放っておくと取替や大規模補修により多額の費用がかかり、事故が発生した場合は賠償責任を問われることもあります。

また、不要となった屋外広告物は、安全確保のため撤去に努めてください。

（裏面もご覧ください）

安全点検のチェックポイント

サビ、汚れ、板面のズレ、変形などは危険なサインです。



板面の変形・ズレ



主要部材のサビ



看板基礎のひび割れ



壁のサビ汁汚れは、カバー内部にある取付具(ボルト等)にサビが発生しているかもしれません。

事故が起きてからでは遅い！！



ポール看板の倒壊



欄間看板の板面落下



袖看板の底部脱落

事故防止のためには、
早期発見、早期対応を！